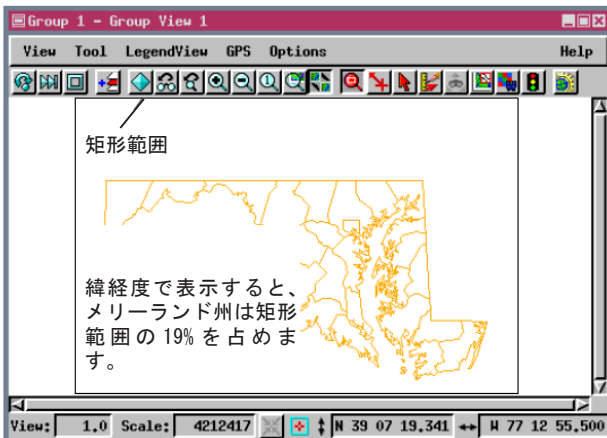


サーチ範囲とオブジェクト範囲

TNTmips のジオカタログ機能を効率的に使用するには、最小サーチ範囲と最小オブジェクト範囲が指す意味や、表示するグループや検索されるオブジェクトの投影法に対してこれらの範囲がどのように作用するかを理解しなければなりません。[最小サーチ範囲 (Minimum Coverage)] スライダーは、指定したサーチ範囲や領域の何%がオブジェクトと重なるかを指定します。[最小オブジェクト範囲 (Minimum Containment)] の値は、オブジェクトの範囲の何%がサーチ範囲に入らなければならないかを指定します。サーチ範囲やオブジェクト範囲のパラメータは座標範囲やリージョン (ポリゴン) を使って検索する場合に適用されるものであり、ポイントによる検索には適用されません。

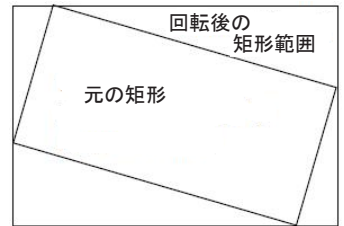
Minimum Coverage:	<input type="text" value="90"/>
Minimum Containment:	<input type="text" value="90"/>



範囲の割合は、全ポリゴンを選択して作成したリージョンの面積から計算しました。

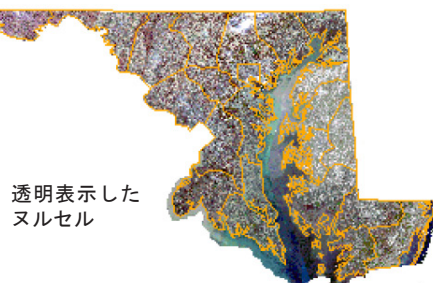
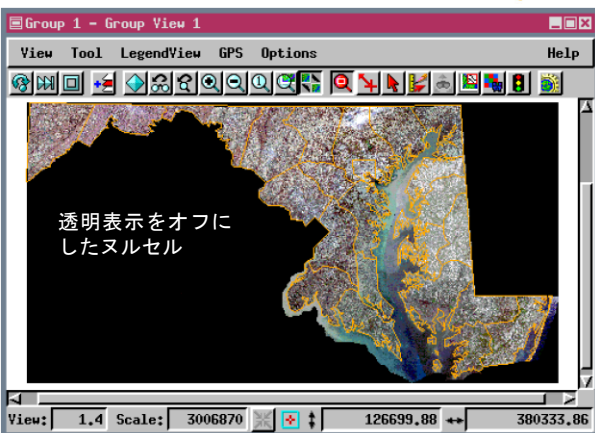
最小サーチ範囲の適正值は、ジオカタログの使用目的によって異なります。例えば、ほぼ同じ範囲を有するオブジェクトを求めようとしているのか、それとも州のように大きな領域を参照してその範囲内に入る全てのオブジェクトを検索しようとしているのかによって変わります。前者の場合、最小サーチ範囲を90%に設定するのが適当です。後者の場合は、最小サーチ範囲を0%近くに設定すると良いでしょう。テクニカルガイド「ジオカタログの紹介 (Introducing GeoCatalogs)」の図で選ばれているオブジェクトは、メリーランド州の0.1%も重なっていないものもあります。

ジオカタログを範囲で検索する場合、オブジェクトやオブジェクトが属するグループの投影法はサーチ範囲パラメータと密接に関係します。オブジェクトがオブジェクトの有する投影法で表示されている場合に境界の四角形が最小になるとします。投影法の変換などでオブジェクトを回転すると、オブジェクトを囲む矩形範囲が大きくなります。従って、サーチ範囲が90%として、あるオブジェクトの投影法ではジオカタログで検索されるが、他の投影法ではそのオブジェクトは検索されないということがあります。



特にサーチ範囲が領域で指定されている場合、最小オブジェクト範囲パラメータは少し注意が必要です。不規則な形をした領域で検索する場合、領域の境界は参照オブジェクトに対して

のみ使用されますが、オブジェクトの矩形範囲がカタログ検索に使われます。従って、メリーランド州のランドサット画像 (左図) は、領域として選択したメリーランド州の外周にほぼ完全に含まれているように見えますが、ヌル値の透明表示をオフ (左の下) にすると本来の矩形範囲が確認できます。実際、メリーランド州の外周リージョンでメリーランド州の郡のベクタオブジェクト (リージョンの作成元) を検索するには、最小オブジェクト範囲は32%以下に設定しなければいけません。



のように見えますが、ヌル値の透明表示をオフ (左の下) にすると本来の矩形範囲が確認できます。実際、メリーランド州の外周リージョンでメリーランド州の郡のベクタオブジェクト (リージョンの作成元) を検索するには、最小オブジェクト範囲は32%以下に設定しなければいけません。